

たかす議会だより

2025年5月7日発行

たかす

No. 198

令和7年3月定例会号

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 松平さくら



TAKASU

予算質問フェスティバル

令和7年度
一般会計予算
66億3700万円
気になる5つの重点施策

YES 執行方針・予算
議員は何を問う

6人が一般質問
通信簿の結果も掲載!

プロセスを大切に
丁寧な町民説明を
副議長選挙 臨時会

66億3700万円

広報「たかす」4月号にも
予算について掲載されています
併せてご覧ください

Check!



鷹栖市街地に公設民営の商業施設として、ツルハドラッグと物産館がオープンし、生活が便利になります。

保育園は充実を目指して統合する一方で、子ども発達支援センターの設置や総合型地域スポーツクラブの充実を図ります。

移住定住対策では市街地の空き家を解体し、宅地として活用する場合、最大80万円を助成します。

鷹栖小学校大規模改修や新たな国営農地基盤整備事業の準備も進め、若い世代が安心して希望をもち、生活できる環境整備に努めます。

谷 寿男 町長



1

農業の担い手育成とスマート農業

農業次世代人材投資事業ほか 1760万円
スマート農業の推進ほか 5054万円

基幹産業である農業の維持・発展に向けて、農作業の自動化のためスマート農業の関連整備が進められます。



ハウス内環境測定装置
現在、先進事例を調査研究しています。

関連 P15 阿戸議員一般質問へ

〈もくじ〉

- 4 議員は何を問う
執行方針・予算への質疑
- 11 プロセスを大切に
2025年第1回定例会
- 12 6人が一般質問
斉藤・青野・阿戸
桑原・川原・片山
- 19 副議長選挙 ほか
臨時会
- 20 次年度に向けて
委員会レポート
- 22 ごみ減量の現状
一般質問追跡レポート
- 23 議会のうごき
VOICE / クイズ



過去の議会報「孔雀草」
で関連のある記事を表し
ています。

今回の表紙



今回の表紙は
定例会前に町内に新聞折り込みした案内
チラシをもとに作成しました。チラシの
アイデアも募集中です。(→22ページ)

令和7年度一般会計

人口減少や少子高齢化が進む中、限られた財源を効果的・効率的に活用し、次世代への確実な財産を残せる持続可能なまちづくりを観点に堅実な予算編成となりました。

町政執行方針で示された、今年度取り組む重点施策**5点**について紹介します

4 **持続可能な総合交通対策**

地域公共交通対策に共通意識を持つ人材を育成
1320万円

公共交通に係る地域資源を把握し、勉強会やセミナー、意見交換会を行い、現状と課題について理解を深め、共通意識を持つ人材を育成。地域公共交通の課題解決を進めます。

関連 質疑は P9 へ

5 **移住定住の促進**

地域プロジェクトマネージャーを配置
690万円

移住定住を促進するためにプロジェクトマネージャーが配置されます。空き家解体の助成制度(上限 80 万円) も創設されました。

関連 P16 桑原議員 一般質問へ

まちづくりの指針となる第 8 次鷹栖町総合振興計画の後期5年間の 1 年目となります。

今定例会では、令和 7 年度の予算に対して白熱した質疑を行いました。人口減少に対応した町づくりを進める中で、どのように予算が執行されるかチェックしていきます。

行財政改革が急務であり、それに取り組む行政に、注視しています。

町民の皆様に関心と信頼の持てる議会を目指しています。



大石 隆議長

2 **安心して産み育てられる子育て支援**

鷹栖保育園と北野保育園を統合
9502万円

統合により保育士不足を解消し、子どもたちをより安心して預けられる体制を作ります。0歳児保育と一時預かり保育の環境も整備されます。運営経費も 2457 万円減額。

子ども発達支援センターを開設
1071万円

10月、閉園後の北野保育園を活用し開設します。発達に課題を抱える児童や家族に多角的に支援することを目的とし、療育利用期間は最大9ヶ月です。

関連 質疑は P4.5 へ

3 **商業の拠点を核とした市街地活性化**

公設民営でツルハを誘致
4億 2867万円

旧鷹栖農協跡地にツルハドラッグが11月オープン予定。生産者と消費者をつなぐ物産館も併設されます。町営デマンドバスの発着場となり活性化の拠点となります。

Interview Takasu

長年待ち望んでいた商業施設が近くに出来て大変うれしく思います。自動車の運転免許を返納したので、歩いて買い物に行くことができるので助かります。

小高 明さん(鷹栖地区)



関連 P17 川原議員一般質問へ

執行方針・予算 議員は何を問う



執行方針に対する質疑や予算審査特別委員会では多くの質疑を行いました。主な質疑を要約してご紹介します。

子育て

190号
5頁

保育園統合 在園児の環境を最優先に考える

2025年4月からの鷹栖保育園と北野保育園の統合に向けて、町は体制整備に努めてきました。直前まで体制がなかなか決まらなかったこともあり、保護者や保育士から不安の声もありました。これを受け、議会でも議員協議会や保育士との意見交換会（23ページに関連記事）を開催し、よりよい保育環境を目指し町と協議してきました。

定例会でも執行方針や予算審査だけでなく、関連する条例改正などで多くの質疑がありました。その一部をご紹介します。

人数の多い1歳・2歳児
3クラスに分けて保育

青野 執行方針の「より安心して産み育てることができ、子育てが楽しくなる町を目指す」とは具体的にどのような環境ですか。

町長 統合後は保育士不足の課題を解決し、一時預かり保育や0歳児保育の環境の充実に努めます。

統合後1歳・2歳児クラスの人数が計45人と多くなるため1歳・2歳児を3クラスに分けて対応します。

まずは在園児の環境を整えることを最優先に考えます。



4月現在の鷹栖保育園職員数 68名 (内 正職員 11名)

質疑で
わかった

0歳児受け入れは縮小
一時預かり保育は改善

0歳児の受け入れ人数は、当初20人を目指していましたが、1部屋を1歳・2歳児クラスに使うため、2025年度は10人に縮小します。
一時預かり保育は、2025年度から専門に担当する保育士が常勤し、対応できるようになります。



月齢に応じて、2部屋を利用して保育を行います。

待機児童ゼロにする努力を

林川 旭川市と連携し広域保育事業を活用し待機児童をゼロにする考えは。

町長 待機児童を100%出さないとは申し上げられませんが、努力いたします。



保育室を改修し、2部屋の個別指導室を準備。保育士や社会福祉士が配置されます。

北野保育園を活用して
子ども発達支援センター

現在、就学前のグレーゾーン（発達障害の特性が見られるものの、診断基準を満たしていない状態）の子どもが30人ほどいます。
専門的な相談・支援体制を拡充するため閉園後の北野保育園を活用し、10月に子ども発達支援センターを開所します。

5歳児健診も始まります

子どもの身体的・社会的発達状況を就学前に確認し、支援につなげる5歳児健診を始めます。

条例改正でも
関連する質疑が
ありました

会計年度任用職員
担任手当3万円 新設

保育園の会計年度任用職員は担任業務に従事しても手当がありませんでした。正職員との賃金の格差是正に向け、担任手当3万円を設定する条例改正を行いました。
金額は近隣町村と同額で、担任は正職員が基本的に担い、採用も計画的に進めるとのことです。（川原議員への答弁）

予算に対し付帯意見

多くの議論を経て、予算審査特別委員会では予算に対して、次の意見をつけました。

質疑終了後、予算審査特別委員会の青野委員長が報告をしました。



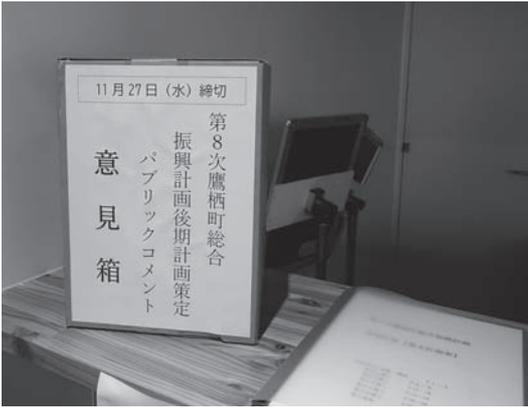
子育て支援費において事業開始後、利用する子供への環境変化に対して、柔軟で効果的な対応に努めること。

パブリックコメント
募集期間をもっと長く

片山 町のパブリックコメントの意見募集期間は10日前後のものが多い状況です。

総務省では特別な理由がない限りは原則30日以上を期間を設けることとしています。周知期間なども考え、もう少し長い期間を確保できませんか。

町長 改善していきます。



パブリックコメントとは政策に住民の声を反映するため、意見を募集することです。



北斗地区の北鷹栖団地
解体後の土地の用途は？

阿戸 北斗地区にある北鷹栖団地の2棟8戸の解体場所と、解体後の土地の用途は。

建設水道課長 全体で4棟16戸あるうち、今回は昭和47年建設の2棟が対象です。

まちづくり推進課長 土地の用途は決まっていますので、地域の皆さんとも協議させていただきます。



30年前、ゴールドコーストとの交流を記念し、メロディーホール前で植樹が行なわれました。

植樹活動の参加促進
どのように取り組む？

林川 植樹活動で新たな町民の参加を促していますが、その後の取り組みは。

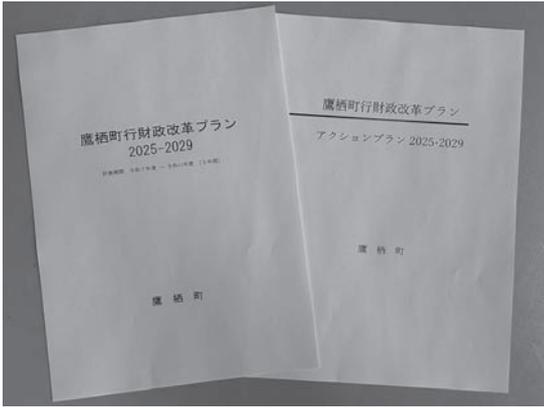
町長 これまでの植樹祭は参加者が固定化しつつありました。ゼロカーボンシティ宣言を機に、新たな住民参加型の企画を検討しています。

森林づくりだけでなく、ごみの削減など生活の中でできるCO2削減の取り組みも大切です。

学校の環境活動や社会教育も含め、若い世代とともに行動し、親世代が手本を示しながら協働のまちづくりを進めます。

行財政改革

防災



次期の行財政改革プランは町のHPで公開されています。

行財政改革の成果と課題
町民に提示を

林川 次期の行財政改革プランについて、成果と課題が明確にされています。今後どのように提示していきますか。

町長 行財政改革推進委員会から答申済みで、2025年3月末までに終わるように進めています。また、町民の方にも公開する予定です。

防災への補助金
地区の規模などの配慮は

桑原 自主防災活動に対する補助金が各地区に20万円ずつとなっています。人口の多い北野地区や鷹栖地区への配慮は。

まちづくり推進課長 基礎的な防災用具の購入などのため、人数に関係なく一律にしています。
人数的な配慮をとという声もありますので、今後、地域としっかり話し合い、地域のニーズに合う補助を検討していきます。



各地区で防災研修などが開催されています。写真は北野地区。避難所運営をゲームで学んでいます。

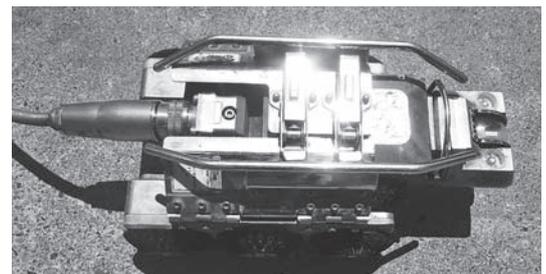
全国で増える下水道事故
鷹栖町はどう備える？

片山 八潮市では下水道の老朽化により大規模な道路陥没事故が発生しました。全国どこの自治体でも起こる可能性があるとも言われています。鷹栖町での対応は。

建設水道課長 鷹栖町は国の緊急調査箇所の対象外ですが、管路調査業務としてカメラ調査を実施します。
調査は2025年度から複数年かけて行い、異常があった場合はその都度、修繕し、ストックマネジメント計画にも反映します。



調査に使うカメラと、これで撮影した下水道管内の様子



鷹栖高校の支援
給食の提供などできないか

青野

鷹栖高校の生徒数減少が深刻な状況です。地域と連携した小規模校の魅力を高めるべきです。鷹栖高校への支援策として、給食の提供など、町全体として鷹栖高校の支援に取り組む考えは。

教育長

さまざまな対策を検討する必要があります。上川管内で給食を提供している事例もあり、有効なアイデアとして検討します。



鷹栖高校の2025年度入学者数は21人で、町内からは2人が入学しました。



鷹栖小学校改修後に北野小学校を改修する予定です。

小学校校舎の大規模改修
あと何年の維持 見込む？

片山

今後どれくらい期間、校舎を維持するかにより、改修の規模も変わってくると思います。どの程度の期間を見据えた改修を計画していますか。

教育長

15年から20年持つような形での改修を考えています。

図書購入費の減額
読書活動推進に逆行では？

川原

執行方針でも読書の大切さを述べ、読書を推進しています。図書購入費が50万円減額され、250万円になっているのは、この方針に逆行するのでは。

教育課長

図書購入リクエストや相互貸出などもありますので、利用者の満足度を得られるよう努めます。

第2次読書推進計画の中で図書更新率の目標を設定。2024年度3.6%に対し、目標は2027年度8.4%、2030年度15.4%です。(片山議員への答弁)

リカレント教育（社会人経験
を経てからの再教育）は

林川

リカレント教育の一環として、デジタルリテラシー向上の取り組みをスマホ教室以外にも広げる考えは。

教育長

課題別学習として住民の声を聞きながら、いろいろな学習素材を考えていきます。

健康

交通

環境



保健推進委員の活動は終了しますが、今後は保健師が中心となって、健康づくりをサポートする新たな体制を整えていきます。

保健推進委員の終了
今後は

片山 保健推進委員制度の終了の経緯は。委員を担うことで健康への意識が高まっていた要素もあるのでは。終了後の取り組みは。

健康福祉課長 委員の皆さんの負担が大きな要因で、制度を見直します。

今後は、保健師や集落支援員と連携し、多くの方に健康意識を持ってもらう取り組みを進めていきます。

運動面では総合型地域スポーツクラブとも連携し、その活動に保健師が顔を出すことも考えています。

持続可能な公共交通対策
どのように取り組む？

青野 持続可能な公共交通の再構築に向けて、具体的にどのような計画を持っていますか。

町長 国の補助金も活用しながら、行政と地域が協力して取り組みます。

林川 現在は地域公共交通の課題を解決するため、どうやって市民の理解を深め、利用者数を増やすかという発想です。自分の車で移動していた人が実際運転できなくなった時が問題。発想を変える考えは。

町長 遅きに失したと思いますが、それを解決するためにこれから検討していきます。



2025年度は北野小学校の児童からの提案で北野公園にターザンロープを設置します。町のふるさと共育の一環で提案に対してフィードバックが行なわれました。

196号
3頁

鷹栖地区にももっと公園を
中長期的な整備計画は

片山 保育園統合により園児たちが遊べるよう鷹栖地区にも、もっと公園が欲しいという声があります。こつという声も聞きながら進めていく考えは。

町長 参考にします。

減農薬・減化学肥料への支援
検討は

川原 2024年12月の所信表明では、減農薬・減化学肥料など環境に配慮した取り組みを進めるとあります。2025年度執行方針ではそういった文意はありませんが、検討状況や町長の考えは。

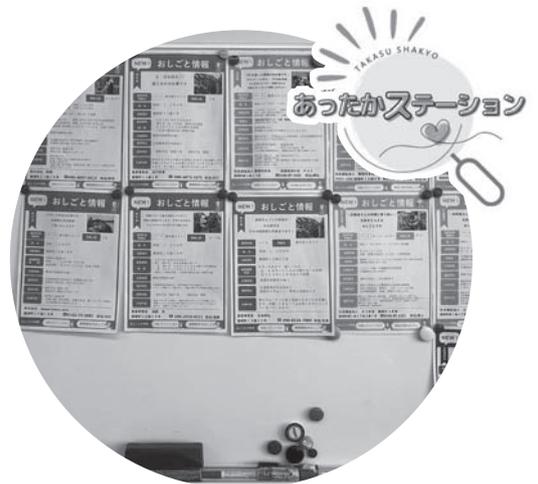
町長 時代のニーズに合わせた農業を行っていくことが必要です。減農薬をしても同じだけ収量がとれば付加価値が高くなります。中心団体は経営者やJAですが、町も多面的な支援をしていきたいと考えています。

減農薬、減化学肥料については、たいせつ農協では昨年度より「節減対象農薬の成分使用回数5割以下であること（慣行レベル 22 回）、化学肥料の窒素成分が慣行レベルの5割以下であること（慣行レベル 10kg/10a）」に従い特別栽培米に取り組んでいます。

町としてあさひかわ農協も含めた支援をしていただければありがたいです。



農業委員会 吉本 憲会長



楽しく・無理なく・ちょこっと働きたい方はサンホールはびねす 2 階へ

あったかステーション活用
労働者不足解消へ

川原 農業パートなどの労働者不足解消に向け、事業者と人材とのマッチングをするあったかステーション。過去の実績をふまえて今年度の展開は。

産業振興課長 特に農業と福祉の分野に労働者不足の課題があります。キュウリの収穫体験を行い、労働者の不安を解消する事業を行います。

2024年度実績
就労実績 80人ほど（12月現在）
キュウリの収穫体験
10代から70代男女 合計51人参加

中山間地域等直接支払交付
金減少の見込み

川原 農地改良事業や野菜ハウス設置事業の補助が受けられない農業者がいるとお聞きしています。補助が減少する理由と農業者の状況は。

産業振興課長 交付額は合計で最大4000万円減少する見込みです。補助が受けられなかった農業者には国の代替え事業がある際、速やかに周知します。2026年度の優先的対応に向けて事業実施主体である地域農業推進会議と検討します。

解説！

当初、農水省では耕作放棄地をつくらなため、水田を畑地化しても水田の機能を要していれば「田」として対象農地とする判断でした。しかし、会計検査院では交付額の少ない「畑」とする見解が示されました。

「田」としての対象農地が減少され、交付額が減少し、農地改良やハウス補助の事業も縮小されました。

2025年 第1回定例会

プロセスを大切に丁寧に町長説明を

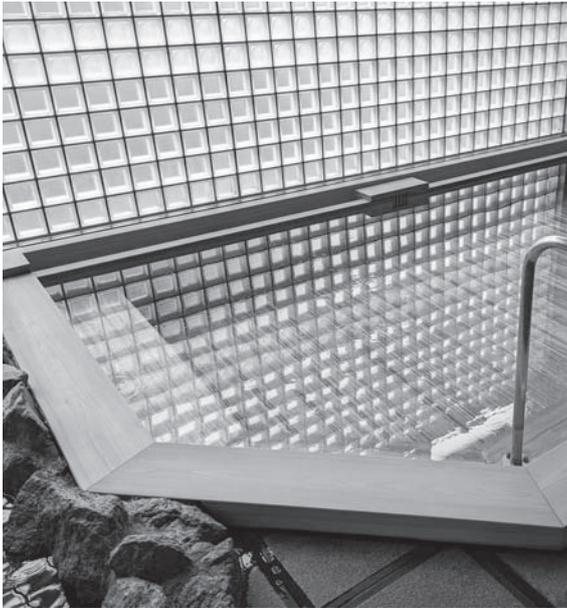
はびねすの風呂利用料改正
条例案は取り下げに

内容

サンホールはびねす
プールと風呂の一般料金
1回400円から500円に増額
理由▽光熱費の高騰や修繕費の増加

ここに疑問

○ はびねす運営委員会には事前に説明
○ 利用者や町民には議決後、6月の改定ま
でに説明を行う予定



はびねす維持管理費が2017年～2019年の平均2960万円から2022年～2023年の平均で3636万円と1.23倍になっています。

ギカイの視点
使用料見直し方針との整合性がとれていない

公共施設の使用料改定については議会でも、さまざまな議論をしてきました。

2021年策定の「公共施設使用料の見直し方針」では、5年ごとの改定サイクルとしています。2024年の改定から1年での改定は、この方針と整合性がないとの指摘がありました。

また、提案前に住民への周知が不十分なことを指摘する質疑も多くありました。

(質疑 片山 斉藤 林川 青野)

これらの意見を受けて、「提案手法を急いでしまっただ」「住民の意見を十分に聞く場が不足している」との理由で、この条例案は取り下げられました。

宅配ボックス購入
助成費 減額補正

購入費の半額(上限10万円)を補助

運送業者の再配達を削減し、CO2削減を目指します。

194号
3頁

当初予算50万円を25万円に減額補正
※ 当初見込み50件、実績は19件

設置件数が伸び悩んでいるため周知に努める

(川原議員への答弁)

監査委員の選任同意
小川一也さん再任



議会選出の阿戸監査委員からひとこと

2年間、共に監査に携わってきました。自らの判断と責任において監査業務に向き合う、小川さんの誠実かつ厳正な姿にいつも感銘を受けていました。引き続きよろしく願いします。



定例会のあらまし

3月10日

町政・教育行政執行方針報告
6人の議員が一般質問

3月11日

議案審議(補正予算・条例改正)
2025年度予算の説明

3月12日

執行方針に対する質疑
予算審査特別委員会

3月13日

予算審査特別委員会
同意案件2件を審議

条例改正1件取り下げ
他はすべて全会一致で可決

議案一覧はこちらから



一般質問

争点の提起

一般質問は、各議員が行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問を質すことで、現行の政策を見直し、新規政策につなげる重要な活動です。鷹栖町議会では一般質問を議員個人のものではなく、政策資源として活かすことを目指しています。

6人の議員が町政を問う

質問議員	質問内容	総合振興計画での位置づけ	頁
斉藤 哲子	不登校児童生徒への対応は	施策①「地域ぐるみで魅力ある学校教育」	13
青野 敏	予算編成における裁量権の考えは	施策②「持続可能な行財政運営」	14
阿戸 伸一	スマート農業 今後の普及と展開は	施策⑩「未来へつなぐ明るい農業」	15
桑原 芳文	移住定住による町の活性化対策は	施策⑪「地域と調和する移住定住促進と関係人口の創出」	16
川原 允	郷土資料館に学芸員を配置しては	施策⑤「郷土の歴史と文化芸術を生かしたまちづくり」	17
片山 兵衛	どんな災害を想定し、備えるか	施策⑬「安全で安心なまちづくりの推進」	18

一般質問の内容と関連する第8次鷹栖町総合振興計画の施策を記載しています。総合振興計画は右のQRコードからも確認できます。



議会の感想 聞きました

Interview Takasu

一般質問だけでなく、数日間にわたり傍聴してくれました。



地域プロジェクトマネージャー
伊藤 玲緒さん

「今」を知るために 議会を傍聴

高校卒業後、7年ほど故郷鷹栖町を離れていましたが、新年度からUターンする見込みがあったため、「今」を知るには議会が一番鮮明であると考え、傍聴しました。

まちづくりを自分ごと に感じた

議員の皆さんが大切に住民の意見を預かり、役場職

員の皆さんと一つひとつ丁寧に議論されているのが印象的でした。

傍聴することでもちづくりを自分ごとと感じ、自身も地域の一員であることが再認識することができたと思います。

若者と議会が気軽に 話できる環境を

特に若い世代がまちづくりを自分ごととして捉え、率先して生涯暮らしやすいまちを行政や議会と共創する必要があります。

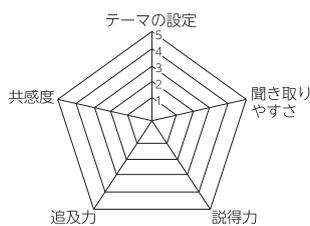
若者の地域参画を促し、さまざまな事業等を実現させていくことが求められると考えます。
若者と議会が気軽に対話できる環境が整備されることを望みます。

YouTube
やってます



事前に質問内容を語る動画や質問直後の感想動画を配信中です

通信簿の評価



一般質問の通信簿の結果は平均点をレーダーチャートで掲載しています

通信簿に書かれた各質問議員への傍聴者の方からのコメントの一部を、なるべく原文に近い形でページ下部に掲載しています。

不登校児童生徒への対応は

教育長 教育大学との連携で、成果が出てきている



4月から児童生徒支援相談員の渥美さんが鷹栖中に配置されました。子どもたちと少しずつ交流し、理解を深めていきたいとお話されていました。

全 国で課題となつて
いる不登校児童生徒。

本町の状況は。

2024年からの北海道教育大学旭川校との連携事業の成果は。

教育長 年30日以上欠席している子どもは、現在小学校が10名、中学校が15名います。

連携事業の成果として、別室登校の子どもが大学生と接することにより普通教室に戻れた案件が1件ありました。また、欠席が減り別室登校を続けている生徒が1人います。

質問 学生の本分は学業です。学業への影響は。

教育長 学業の合間に来てもらっていますので影響はありません。

質問 2025年度から中学校に校内教育支援センターを設置します。小学生にはどのような形で対応しますか。

教育長 児童生徒支援相談員が小学校に向いて対応します。

質問 全く登校できていない児童生徒にはどのように対応しますか。

教育長 大変難しいと思いますが、学校と連携しながら相談員が家庭訪問し、当該児童生徒と面談できればと思っています。

**フリースクール通所
助成の見直しは**

質問 不登校の子どもがフリースクールに通うために助成金を出しています。この事業の活用状況は。

町長 4人が活用しています。1人は通学できるようになり、フリースクールとバランスを取りながら生活が来ています。保護者も仕事を始めて、精神的にも時間的にも余裕が出てきていると伺っています。

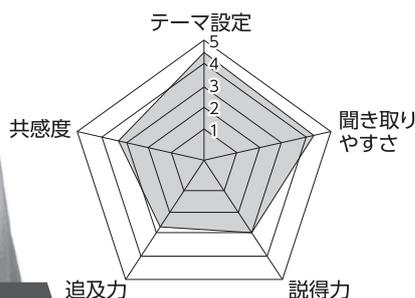
質問 フリースクールが新たな居場所として定着すると、学校への再適応が難しくなります。助成を見直す検討が必要では。

町長 子ども家庭支援員が家庭での生活状況や成長の変化を聞き取り、通学への働きかけをするなど、保護者と学校との信頼関係を構築しています。学校に興味を持ち始めている子どもがいることから、当面この事業を継続したいと思っています。

質問 高校進学率を見ると、子どもたちは勉強したくないわけではないと考えます。

学校の楽しさを知ってもらうことで、やがてこの助成が必要なくなることを願っています。町長の考えは。

町長 子どもたちにはいろいろな場所が必要で、成果が上がっていますので、温かく見守って頂けたらありがたいです。

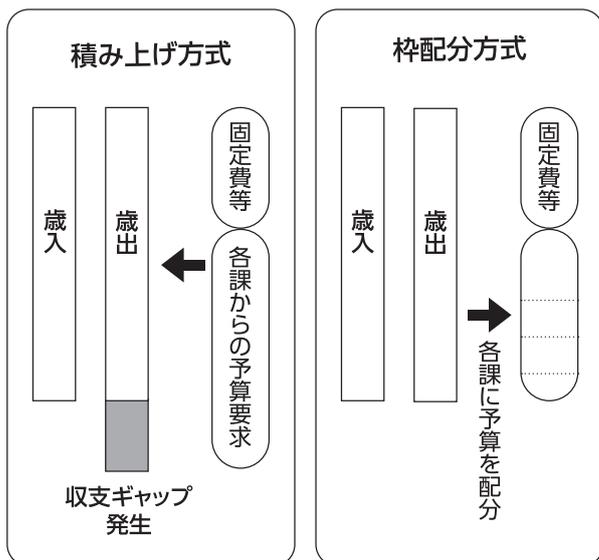


さいとう てつこ
齊藤 哲子 議員



予算編成における裁量権の考えは

町長 各組織との連携と理解を図り行う



積み上げ方式では各課からの予算要求が歳入を上回り収支ギャップが発生します。枠配分方式ではあらかじめ予算を配分し、その範囲内で各課が事業を行います。

1年中、動いており、課題を感じてはいません。

質問 今後どのような条件が整えば、予算編成の裁量権の拡大が可能ですか。

町長 小さな町なので、壁を作るのではなく、双方が連携しながら課題を共有し、解決に向かう手法を取りたいと考えています。

枠配分方式の採用を検討しては

質問 現在の予算編成は積み上げ方式です。厳密な予算配分が可能な一方で、柔軟な対応を困難にする側面があります。

質問 枠配分方式は、担当課に一定の予算枠を付与し、その枠内で自由に予算配分を決定する権限を与えるものです。

これを採用することで、

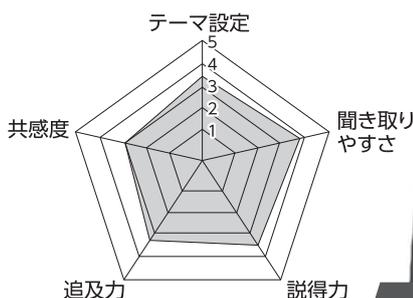
変化するニーズに迅速かつ柔軟に対応でき、職員のモチベーション向上にもつながるのでは。

町長 全体としての整合性や優先順位の調整が難しくなる枠配分方式よりも、現時点では積み上げ方式が最良と考えます。

しかし、意見も参考にしながら、より良い予算編成の方法について研究していくことを約束します。

質問 枠予算配分方式は積み上げ方式を補完するものと考えます。

この方式を取り入れることで、事業のスクラップアンドビルド（既存のものを廃止してから新設すること。肥大化を防ぐことができる）などが進むのでは。



あおの さとし 議員 **青野 敏**

町長 限られた財源で予算編成をする上で、そのような方式も大切であることは理解できます。

町民とのワークショップや審議会でも女性を含む多くの方からご意見をいただいています。

これらのご意見を具体的な計画や事業に展開していくこと、職員も一生懸命頑張っています。

引き続き注視していただきたいと思います。

予算編成の提案権、裁量権は

量権は、議長、農業委員会会長、教育長の予算の裁量権は十分とは言えません。3団体の独立性を考慮し、予算編成の裁量権を一定程度持たせることはできませんか。

町長 毎年度、予算編成方針に基づき、各組織と連携を図り進めています。

町長の重要な責務として、各団体との連携と理解に努め、現在の手法で予算編成を行う考えです。

質問 連携を強化する具体的な方法は、課題を感じたことはありませんか。

町長 政策ヒアリングを年2回、1回は課長と予算編成を含めた形で行なっています。

「予算編成」という、難しい、事業の基本ともなり、実行性のある方法等は、正直、私個人には、わからない点多し。」

スマート農業 今後の普及と展開は

町長 新たな技術導入に向けた試験を行う



あったかファームで導入しているキュウリの養液栽培システム

農 業人口が減る中、経営面積を拡大するには、農業効率を高めることが必須です。

持続可能な農業の切り札とされる、スマート農業の今後の普及と展開は。

町長 現在、自動操舵システムのリース事業を展開しています。さらに推進するため、水田では自動給水栓、施設園芸作物ではハウス内環境測定装置の試験を予定しています。

また、スマート農業機器の機能を最大限に生かすため、町内の通信環境の整備

に向け、試験を実施します。関係機関、農研機構、民間企業、旭川高等専等と連携して調査研究や具体策の検討を進めます。

質問 若い世代が法人経営を含めた多様な農業経営に取り組めるような対応が必要では。意欲的な農業者の育成促進の方策は。

町長 2025年度の国の事業では、担い手農業者の育成・確保対策として、法人設立に係る費用の一部を支援する制度が拡充されました。

これらの国庫補助事業などを有効に活用できるような情報収集を行い、的確に情報提供します。

足腰の強い農業経営体の育成・確保に向けて、継続してサポートします。

質問 農業法人への人材確保策として、「地域おこし協力隊」を活用しては。

研修後は将来の法人幹部候補として雇用することも考えられるのでは。

町長 農業法人の幹部候補

の育成・確保対策は重要です。

2025年度からは就業フェアなどで雇用就農の募集も実施します。

地域おこし協力隊制度の活用の必要性や体制整備については、2026年度に向けて新規就農者・農業後継者審査会で検討します。

農業のグリーン化 町での取り組みは

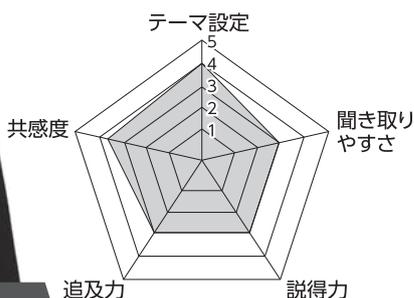
質問 食料・農業・農村基本法の改正で農業のグリーン化（環境に配慮すること）が主要な柱の一つに据えられました。町での取り組みは。

町長 もみ殻バイオ炭や子実用コーンの活性炭を土壌改良剤として活用する取り組みを目指し、地域農業推進会議、道外の民間企業と連携し、2025年度から本格的に調査研究・試験実施をする計画です。

また、農業者に対して、J-クレジット（CO2削減量や吸収量を国が認証する制度）の活用にもつながる制度設計も併せて研究する予定です。



あと しんいち **阿戸 伸一 議員**



移住定住による町の活性化対策は

町長 地域プロジェクトマネージャーと新規事業に取り組む



住宅建築支援事業は2022年度から27件、20件、14件（2025年2月末現在）と減少傾向です。

また、空き家改修事業は、最大100万円の助成金を出しています。まずは、これらの補助金で流動化を図っていきます。

質問 空き家バンクの登録は25件、成約は15件でした（2024年度実績）。成約数の推移は順調です。

しかし、空き家バンクに登録していない物件は100件前後あり、今後増加が見込まれます。利用促進のさらなる対応は。

町長 空き家には、さまざまな課題があり、解決に向けては専門的な知識が必要です。

新たに移住定住に特化した「地域プロジェクトマネージャー」を雇用します。案件に応じた調整をきめ細やかに進め、課題をより一層効果的に解消していく考えです。

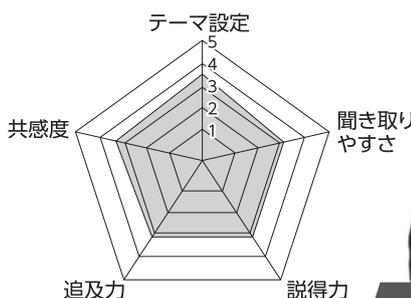
新たな挑戦で移住定住促進を

質問 小清水町では空き家に住みたい人が登録する「さかさまバンク」を地域プロジェクトマネージャーが実施して移住定住につなげています。

このような新たな取り組みに挑戦する考えは。

町長 面白い取り組みだと思えます。

そのような取り組みも行いながら、農業地帯ならではのメリットなど、本町の魅力を生かしていきます。また、農地付きの空き家が相当数あります。それらを解消するために地域プロジェクトマネージャーの活躍も考えています。



質問 本町の魅力が今以上に移住定住希望者の心に響くようなまちづくりが必要では。

町長 2025年度には立地適正化計画などを見直します。

鷹栖町の市街地の公共施設、公共用地等の中長期的な利活用も含め、検討する予定です。

2 021年から3年間で168人減少（うち社会減48人）している本町では、市街地の宅地が少なくなっています。

住宅建築支援事業の利用状況も減少傾向にあります。この状況を踏まえ移住定住促進の対応は。

町長 2025年度から「住宅地流動化事業」を新設します。

市街地の空き家解体を補助し、宅地の候補地を確保します。移住定住希望者のニーズに合わせた支援を総合的に推進します。

質問 宅地売買を促進するため事務手数料、片付け費用にも支援する考えは。

町長 空き家の解体には最大80万円の補助金を考えています。



くわはら よしふみ **桑原 芳文** 議員

郷土資料館に学芸員を配置しては

教育長 担い手の高齢化は課題 今後検討が必要



2024年度は来館者数が180%増。前年に比べ団体利用が5団体から18団体に増加。町外利用者159名が333名と増えています。

質問 貴重な資料などをデジタル化するデジタルアーカイブ事業の進捗状況は。

教育長 2025年度、事業を運営していくのに必要な予算です。必要な部分は予算要求します。

主 要事業の予算を見るとスポーツを楽しめる環境に1億2299万円が計上されている一方、郷土の歴史に関する予算は261万円です。この予算で機運を醸成できるのか。

質問 貴重な資料などをデジタル化するデジタルアーカイブ事業の進捗状況は。

教育長 担い手の高齢化は課題です。将来的には検討していきます。

質問 総合型地域スポーツクラブに集落支援員を雇用するように、郷土資料館にも学芸員を配置しては。

教育長 コーディネーターとして生涯学習指導員を配置しています。

質問 ふるさと納税が2億円を超え、財源はあります。

町長 歴史文化の担い手となる歴史文化コーディネーターの育成プログラムを構築しては。

教育長 説明動画を今後公開していきます。資料館にもタブレットを設置するなど、作成した動画を効果的に公開できる方法を検討します。

質問 説明動画を今後公開していきます。資料館にもタブレットを設置するなど、作成した動画を効果的に公開できる方法を検討します。

いつでもどこでも閲覧ができるような学び直しのための教材として「おとな版ふるさと共育」の軸の一つにしては。



質問 ツルハに併設する物産館の付加価値として、コンセプトの一つに文化財の活用を取り入れては。

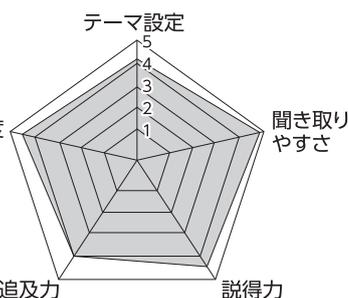
町長 歴史文化や郷土資料は貴重な資源です。時代を超えてその価値を継承し、かつ様々な分野で活用の可能性を広げ、地域の活性化につなげていくことは大切です。

質問 歴史文化や郷土資料は貴重な資源です。

町長 歴史文化や郷土資料は貴重な資源です。時代を超えてその価値を継承し、かつ様々な分野で活用の可能性を広げ、地域の活性化につなげていくことは大切です。

質問 歴史文化や郷土資料は貴重な資源です。

歴史文化や郷土資料 彼の産業で活用を



町長 まずは郷土資料館と連携し、農業の歴史文化を知ってもらうことが価値向上に効果的と考えます。町民団体とも連携し、観光とつなげていきます。旭川市立大学と連携して取り組むことは可能と考えられていますので、今後検討を進めます。

旭川市立大学との地域連携協定を生かす絶好の機会では。

旭川市立大学との地域連携協定を生かす絶好の機会では。

旭川市立大学との地域連携協定を生かす絶好の機会では。

かわはら まこと **川原 允** 議員



どんな災害を想定し、備えるか

町長 高潮・津波・噴火を除く災害を対象としている



3地区で防災士4人(うち3人が女性)が配置され、各地区で防災研修が開催されています。

全町的な防災訓練の早期実現を

質問 全町的な防災訓練の進捗状況は。失敗を恐れず実践し、繰り返ししながら不備を正していくことが重要では。

町長 地区ごとの防災研修の参加者数などを見ると、まだ「自分ごと」化されていない現状です。将来的には実施したいと考えますが、まずは各地区での段階的な推進が必要と考えています。

質問 防災会議への女性参画で、よりよい防災計画となった実感は。

町長 男女双方の視点などに配慮する記述を加えるなど、新たな方向性が示されたと考えています。

質問 各地区での会議の際などに防災ラジオの利用状況を聞いては。活用アイデアの募集も検討しては。

町長 利用率向上のため改めて周知します。地域運営組織でも防災無線をテーマのひとつとするなど活用に向け検討します。

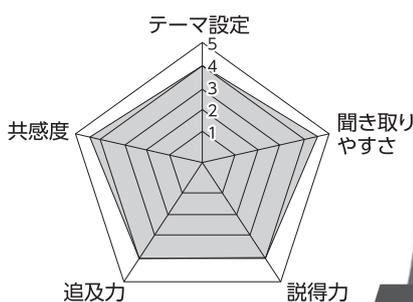
質問 各地区に防災士が配置され体制が整いつつあります。今後の展望は。

町長 将来的には5地区すべてに自主防災組織を設立できるように、積極的に支援を行います。

質問 旧耐震基準の避難所対策が必要では

町長 中央・北斗・北成地区の住民センターは旧耐震基準です。耐震診断を行ううか、地震の場合の指定避難所とすることを見直す必要があるのでは。

町長 耐震診断については、地震で多くの町民が避難する事態は低いと判断しています。耐震性のある避難所を皆さんに知っていただき、安全に避難できるよう周知や理解に努めます。防災に関する冊子の記載も改訂に合わせて修正します。



かたやま ひょうえ 片山 兵衛 議員

町 の防災計画ではどのような災害を想定していますか。最大震度を6弱と想定する根拠は。
町長 高潮・津波・噴火を除く災害を対象とし、最大震度の根拠は防災科学技術研究所のデータです。停電しても避難所で暖をとれるようポータブル電源を整備しています。

質問 避難想定人数を人口の1割から5%にした根拠と影響は。
町長 水害を最大リスクと捉え、最大浸水区域内住民の3分の1を基準に算定しました。避難所の収容能力に影響はありません。備蓄品は必要量を見極めて確保していきます。

質問 各地区での会議の際などに防災ラジオの利用状況を聞いては。活用アイデアの募集も検討しては。
町長 利用率向上のため改めて周知します。地域運営組織でも防災無線をテーマのひとつとするなど活用に向け検討します。

質問 各地区に防災士が配置され体制が整いつつあります。今後の展望は。
町長 将来的には5地区すべてに自主防災組織を設立できるように、積極的に支援を行います。

質問 旧耐震基準の避難所対策が必要では
町長 中央・北斗・北成地区の住民センターは旧耐震基準です。耐震診断を行ううか、地震の場合の指定避難所とすることを見直す必要があるのでは。
町長 耐震診断については、地震で多くの町民が避難する事態は低いと判断しています。耐震性のある避難所を皆さんに知っていただき、安全に避難できるよう周知や理解に努めます。防災に関する冊子の記載も改訂に合わせて修正します。



「防災倉庫のドローン 誰が運転、練習してる？」 ←土木や農業などを担当している町職員が練習を兼ね業務で使用しています。

第1回
臨時会
1/28

あらまし

第1回臨時会は、副議長の選出の後、生活支援米・臨時給付金の事業費を含む補正予算を審議し、全会一致で可決しました。

副議長に青野 敏議員が当選

舟根輝好(前)副議長の
辞職に伴い、副議長選挙を
行いました。

投票結果

青野議員 6票

桑原議員 4票

欠員1名、欠席1名のため
10名が投票

青野議員は議会運営委員
も兼任します。

舟根議員には9年間
ご活躍いただきまし
た。議員問を和らげ
るユーモアと、それ
でいて鋭い意見をくだ
さいました。ありがとう
ございました。

この度、不肖私が副議長に選任いただき
ました。身に余る大役ではございますが、
開かれた議会を目指し、議会の役割と責任
を果たすべく、職責を果たす覚悟ござい
ます。

少子高齢化や人口減少問題などの課題解
決に向け、行政と議会が一体となり、町民
の皆様が笑顔で安心して暮らせる町づくりに
誠心誠意努力してまいります。



議員歴
29年

全町民に鷹栖町産米5キロ支給



前年度に続き、全町民
にお米を1人5キロ支給
する事業が決まりました
(実施済みです)。事業費は
2284万円です。

前年度との違い
「コニが変わった」

「鷹栖町産ななつぼし」
に限定

○ 農家からの直接引き換
えがなく、町内の5店舗で
の引き渡しのみ

「お米以外の選択肢も」

Interview Takasu

物価高騰によるお米の支援は
とても良いことだと思いました。
たくさんの方に喜ばれたと思
います。ただ、米農家にはお米は
あります。もしまた支援をいた
だけるのなら、お米以外にも
一つか二つ選択肢がある支援を
検討していただけると嬉しいです。

寺崎秀子さん(鷹栖地区)



ギカイの視点
米農家への支給が本
当に経済負担軽減につ
ながるの？

財源が国の交付金であり、鷹
栖町産米を使用することか
ら、目的達成を目指したい。

驚!!! 米の返礼品 大幅な需要増で **ふるさと納税2億円達成** 2023年度の2.3倍 お米の割合 **69%**

米特需の影響により、鷹栖町へのふるさと納税の寄附金が2億円を超えました。
町でも「今後も町の基幹産業である農業、特に美味しい米を全国の人に知ってもらいたい」と意気込んでいます。

2025年度予算では
1億5200万円見込む

中間委託事業者を変更
さらなる拡大目指す

条例改正で「防災」を
新たな用途に追加

委員会レポート

各常任委員会の活動をご報告します。

総務文教常任委員会

町全体の計画や防災、税金やごみに関すること、学校教育や生涯学習などを審査審議します。

経済福祉常任委員会

農業や商工業、子育て・障がい者・高齢者福祉や健康、道路や水道に関することなどを審査審議します。

議会広報広聴常任委員会

議会の広報広聴活動全般を担当します。議長以外の全員が委員です。

2025年度の調査研究テーマ 経済福祉常任委員会

子育て環境の充実 「保育」

4月、鷹栖保育園が統合。統合後の保育環境の変化に注視します。

10月、子ども発達支援センターが開所。町が力を入れる発達支援への知見を深めます。

超高齢化社会への対策 「介護」

在宅支援サービスの充実や住環境の整備による一人暮らし住まいの確保が重要です。介護施設の充実や在宅支援を担う人材の確保が大きな課題となっています。

スマート農業の進展「農業」 超高齢化社会への対策「交通」

情報基盤を整備し、スマート農業を推進。将来的にはこの技術が自動運転バスや除雪などに活用されることを期待します。

2025年度の調査研究テーマは 「公共交通」です。 総務文教常任委員会

町営デマンドバスを使ってみようという話もしています。バスで乗り合わせた時にはぜひお声がけください。

先進地視察を通して調査研究を行い、本町の発展に貢献できるよう努めて参ります。

桑原委員長



片山



委員会での語ろう会なども開催します。先進地の視察も行い公共交通についてしっかり考えます。

斉藤



ごみ問題ではいろいろな気づきがありました。新しい挑戦を楽しみしながら、勉強していきます。

安達



多くの方の意見を聞いて、それを行政に伝えながら、よりよい方法を模索します。

阿戸



住民ニーズを理解しサービス向上！公共交通の持続可能な運営の実現を目指します！

ごみ問題、不登校問題など、知れば知るほど山積する課題に何とかならないのか？と悩む日々。解決策を模索したいです。

青野



2025年度はごみ出しが困難な方々への試行的な個別収集が始まります。将来的な課題解決に向けた新しい試みに期待しています。

広報広聴委員会

地域おこし協力隊との語るう会

隊員の4人の活動報告を受けながら、意見交換を行いました。

地域おこし協力隊とは
2017年から総勢26人の隊員を採用しています。地域協力活動を行いながら、鷹栖町への定住・定着を図っています。今年度は10人の隊員が活動しています。



地域における協力隊の意義や課題について学ぶことができました。

他自治体では希望が通り、鷹栖町では協力隊がやりたいことに取り組める環境であるとのこと意見もありました。
最終年度は活動しながら起業等の準備をすることになり、焦りが出るという共通の悩みがあるとのこと。

Interview Takasu

人口減少が進む今、地域おこし協力隊制度が本来の趣旨どおりに機能しているかを見直すことは、まちづくりにおいて重要なテーマです。議員と意見交換できたことは良い機会でしたが、課題は多いと感じています。

元地域おこし協力隊員 落合 亮さん

きいてわかった

鷹栖町は恵まれていますが

きいてわかった

キャリア形成サポート体制を

農業や行政からの業務委託でなければ任期後の活動が難しい。キャリア形成へサポート体制を確立することを求められていました。
鷹栖町は外につながりをもたないと稼げないが、業務が町内向けになるシレンマもあるようです。



隊員の活動が知りたい方はこちらのSNSでチェック!



「広報の充実」から「広聴の充実」へ
議会が地域に外向きます

従来の語るう会では参加者の減少や固定化により、広く意見を聞くことが難しくなっていました。
2025年度は町内の活動に議会が外向き、少人数の語るう会の開催や交流を目的に議会として町内スポーツ大会への参加も計画しています。

全国町村議会議員会館で開催 反転・討論型クリニック
テーマは「読む!! 質す!! 生かす!!」
講師は議会広報ファシリテーターで熊本大学客員教授 越地信一郎氏による演習ありの研修会
住民目線が大事 記事をもとに見出し作成演習
その他にも校正や紙面を見ながらの解説など実践的な内容

5町の議会報を丁寧にクリニック
課題で他町の議会報を事前チェック 片山もはじめて
課題提出のためけた時間以上 勉強になりました
クリニックは参加者からの質疑もあり
「情報量が多いが紙面がこちゃこちゃしてスッキリ感がない」「表紙写真はカラーにしたい」など多くの指摘
今号からできることを取り組んでいます
学んできた内容は今後の広報活動に反映
広報広聴常任委員会でも共有していきます
鷹栖町議会でもアピール力をもっと生かすとアドバイス
議会報でもアピール力をもっと生かすとアドバイス

片山委員が参加できました
山委員が参加できました
山委員が参加できました
山委員が参加できました

議会広報クリニック
2月13日 研修レポート 広告ではありません

「広報の充実」から「広聴の充実」へ
議会が地域に外向きます

従来の語るう会では参加者の減少や固定化により、広く意見を聞くことが難しくなっていました。
2025年度は町内の活動に議会が外向き、少人数の語るう会の開催や交流を目的に議会として町内スポーツ大会への参加も計画しています。

MOV SP

一般質問 その後どうなった？

追跡レポート



194号
15頁

今回、追跡するのは
2023年3月安達議員の質問

議員が行う一般質問が、町政にどう反映されているのか追跡します。

2024年度ごみの排出量が増加傾向 近年では最大値見込み

町民一人当たりのごみ排出量が増えているため、具体的な数値目標を設定し減量化に取り組んでいます。

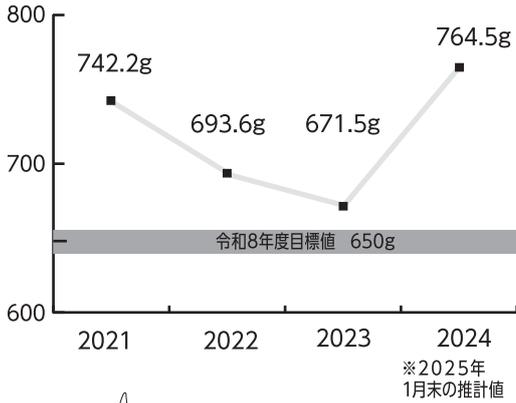
2026年度までの目標

■ごみの総排出量

650g/人・日

■燃やせるごみの排出量

250g/人・日



2024年度は燃やせないごみや粗大ごみが著しく増加しています。7月下旬の記録的大雨において、浸水により不要となったものや漂流物等が、ごみとして排出されたことが要因と考えられます。
町民課

どんな質問だったの

安達 町長
ごみ対策の将来ビジョンは

新たな減量目標を設定し、推進を図る

総務文教常任委員会では、2023年・2024年の2年間で、「ごみ対策」を調査研究テーマに設定。安達議員が代表し、将来的なごみ処分のあり方・ごみの分別・ごみ出しが困難な方への支援等の質問を行いました。

2026年度ごみ出し支援対策事業 本格始動

2025年は鷹栖地区と北野地区をモデル地区としたごみ出しが困難な方への支援を行い、1年間で体制を整備します。

予算

生ごみ処理機
購入に助成

Interview Takasu



interviewer
安達議員

においやコバエ対策、生ごみバケツも軽くなり、ごみを出す回数も減りますね。電気代もそれほどかからないので購入を検討します。

小関 真由美さん（鷹栖地区）

新規事業として生ごみ処理機の購入費の助成を行います。上限2万円（1/2助成）

安達 町が推進する機種は、処理したごみの処分方法は、

町民課長 温風で乾燥させるタイプと微生物で分解させるタイプの処理機に助成します。

基本的には処理されたごみは生ごみバケツへ。家庭菜園をされている方はそのまま肥料にできます。



あなたのセンスが 議会を彩る



鷹栖町議会では、町民の皆さんに議会活動に関わっていただくための企画を考えているところです。議会に対するご意見をいただく議会モニターも検討しています。詳細は未定ですが、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】鷹栖町議会事務局

ついにネタ切れ？

チラシのアイデア募集

定例会の案内チラシについても「町民の皆さんと作る」ことを検討しています。コンテスト形式での募集などを検討していますが、アイデアはいつでも募集中です。



3/18

人数増加に伴い3クラスとなる1歳・2歳児の保護者へ、町主催の説明会を開催。谷町長が安心安全な場をつくることを説明しました。

園の統合が子ども・保護者・保育士にとって安心安全な保育環境につながるよう、議会としても議場外でさまざまな取り組みを行いました。

保育園統合に向け 議会の取り組み



議会として、統合後も定期的にヒアリングの場を設けたいと考えています。

3/6 統合後の保育環境について現場の声を聞く機会をつくりました。

3/6 保育士との ヒアリング

補助分を後から清算する補助方式から減免方式を採用することで、減免後の料金をそのまま支払うことで負担が軽減されました。

2/22 延長保育補助方式変更

2/22 経済福祉常任 委員会で議論

2/28 議会議員報酬調査 特別委員会

委員会の目的として、議員に「なれない要因」と「ならない要因」を調査すること、議員報酬の見直しを含む具体的な対策を検討することを設定しました。

また、報酬の考え方を協議し、今後の調査方針を決めました。

3/31 総会を開催

議員全員が所属する議員会と議会活性化委員会の総会を開催しました。



議会のうごき

2025年 2025年
1月15日 ▶ 3月31日

会議の開催状況

臨時会	2回
議員協議会	3回
議会運営委員会	1回
各常任委員会	13回

【欠席状況】

片山	1/20 議員協議会 2/13 議員協議会 (公務のため)
斉藤	3/21 広報
川原	3/31 広報

坂根議員は体調不良のため1/15～3/30までの公務を欠席しています。

総務文教常任委員会→総務文教のように略しています。

その他の動き

くしゃくそう クイズ

商品券1000円分が
抽選で3名に当たる

○に当てはまる言葉を入れてください。答えはこの議会報「孔雀草」の中にあります！

問1 2025年4月から鷹栖と北野の○○○が統合されました。

問2 2025年度一般会計予算は○○億3700万円です。

問3 鷹栖中学校に不登校対策として校内教育○○センターを設置します。

応募方法などは裏表紙に記載しています

ウェブでも回答できます▶



《クイズ応募方法》
クイズの答え・住所・氏名・年齢を記載し、郵送、FAX、Eメール、または回答フォームからご応募ください。

- ①よかった記事
- ②こうしたらもっとよくなる など、アドバイスもお願いします。

《あて先》
議会事務局（住所などは裏表紙に記載）

《しめきり》
2025年5月31日(土) 消印有効

ご記入いただきました個人情報、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

VOICE

議会傍聴者をはじめとする皆さまの声ををご紹介します。今回は傍聴アンケートに書かれていたご意見です。

傍聴したが執行方針に対して質問していない議員がいた。執行方針は次年度の根幹を成すものなので、これに対してすべての議員がしっかりと質問をすべきでは。

必ずしも質問をすればよいというわけではありませんが、活発で有意義な議論ができる議会を目指す上で、議員の資質向上は課題と捉えています。

《前回のクイズの答え》

問1 所信 問2 タブレット 問3 はたち



鷹栖町に縁のある方に日頃の思いなどを自由に書いてもらうコーナーです。

J Aたいせつ営農部で日々業務をしています



内藤 拓哉さん(鷹栖地区)



子どもたちも所属した少年団活動
ご自身も職場の野球チームに所属していました。

地域の方々から応援される少年団活動が長く続くことを願って

私は生まれも育ちも鷹栖町で、40年以上前の小学生のころは少年団活動に参加していました。指導者や関係者の方々から支えられながら活動したことを、今でも懐かしく思い出します。子供たちも野球とクロスカントリーでお世話になりました。

現在も町には多くの少年団があり、地域の方々の支えのおかげで子供たちはのびのびと活動できています。春と秋の廃品回収の際に「試合頑張ってね」と励ましの声をかけていただくこともありました。こうした地域の皆さんの応援を、子供たちもきっと感じ取っていたことと思います。

コロナ禍の影響で一時はグラウンドや体育館から子供たちの姿が消えました。寂しく感じていましたが、それは地域の方々も同じだったのではないのでしょうか。現在では、ほぼすべての活動が再開され、子供たちが元気に活躍する姿を見ることができ、本当にうれしく思います。

近年、鷹栖町の子供の数は減少傾向ですが、子供たちが活動を通じて成長し、地域の皆さんに見守られながら活動を続けられる環境が長く維持されることを願っています。これからも陰ながら応援していきたいと思っています。

議会報を読んで「語ろう会」

5月24日(土) 13:30-15:30

会場：鷹栖地区住民センター ふらっと
会議室(絨毯の部屋です。お子様連れも歓迎！)

「鷹栖町をもっとこうしたい！」
「生活していて、こんなことにちょっと困っているな。」
この議会報を読んでなんでも語りましょう！

次回定例会は

6月13日(金)・16日(月)

- 日程は変更になる場合があります。
- 役場ロビーとはびねすで中継を予定しています。

